

# 安全に関する改善事例

記入日: 2005年 10月 25日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
徳富ダム	北海道	北海道開発局	G	78.4	309	530
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	コンクリートダム堤体工	墜落飛来落下	設計要因	高所作業	有: <input type="checkbox"/> 無: <input checked="" type="checkbox"/>	

改善の概要: 堤頂部下流面の躯体形状が1:0.8の勾配から垂直へ変わる箇所の施工は、下流スライドフォームを撤去後、ブラケット足場を組立垂直部分のバラ型枠を組立てる施工順序となるが、スライドフォーム撤去時に開口部が発生するため別途の安全設備が必要となる。また、ブラケット足場組立時に危険度の高い高所作業となる。堤頂部下流面の形状を曲線とすることで、スライド型枠が連続して設置できるため安全作業が確保できる。

特許の有無: 有:  無:

メリット:  
連続したスライド型枠作業が出来ることで、開口部発生やブラケット足場組立時高所作業の必要がなくなり、工程も短縮できる。

デメリット:  
コンクリート量が若干増えるため、多少コストアップとなる

